

AI打音チェッカー PDC-100A

特許出願中
NETIS申請中

主な仕様、機能

点検用ハンマーの打撃音をマイクロフォンから取り込み、本体内の機械学習機能によりコンクリート建造物内部の浮き・剥離の有無を判定をします



本体操作	健全なコンクリートを叩き、学習ボタンを押して教師データとして学習、保存
	マイクからの打音信号を周波数解析してAI機能によりコンクリートのOK(健全)/NG(浮き剥離)を表示
データ保存	RECボタンを押して時間波形、周波数波形、OK/NGの取得日時分秒をメモリに保存・BluetoothでPCと接続して保存
波形表示	PCと接続してその場で周波数波形をモニタ画面で波形を表示確認
検出可能な浮き・剥離	かぶり 50mm以内
	浮き 40mm×40mm以上

本体サイズ 134×76×35mm(突起部除く) 質量 300g
 構成 品 PDC-100A本体、打診棒、マイク、マイクフォルダ、充電機、充電器、
 CD-ROM(デバイスドライバ、アプリケーションソフト) ユーザーズマニュアル
 動作環境 OS Windows7、10 64bit

問合せ先：非破壊検査機器

販売担当 小原 勝次

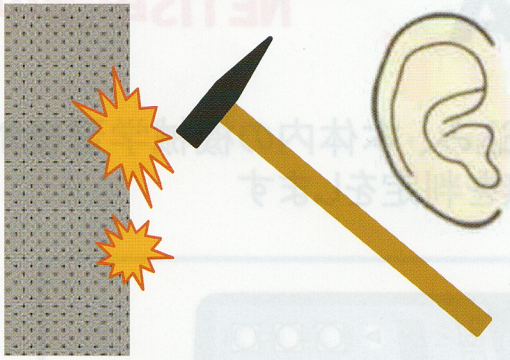
Email k-obara@hihakai-kensa.com

連絡先 TEL03-5937-0427 携帯080-1151-8464

〒169-0075 東京都新宿区高田馬場3-2-14

天翔高田馬場ビル305号

従来の打音検査方法



- ・点検者が聴いて判定
- ・判定に個人差がある
- ・点検者不足

AI打音チェッカーによる方法



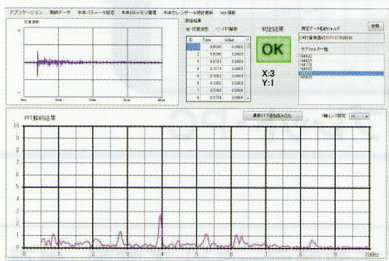
- ・教師データを登録してAIが判定
- ・個人差がない
- ・点検者でなくても検査が可能

操作手順

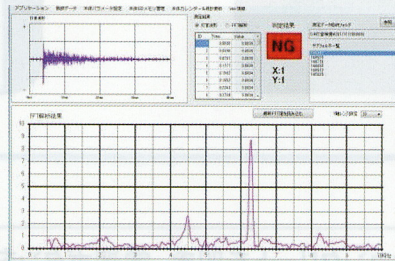
1. その場で学習

健全な箇所を叩いて教師データを学習

Bluetoothで打音データをPCに送信、付属アプリケーションで周波数波形を確認



健全なコンクリートの周波数波形



剥離のあるコンクリートの周波数波形

浮き・剥離があると特徴的な波形になります

2. OK、NGの表示

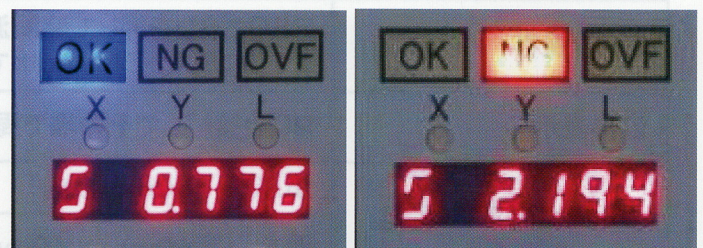
教師データを基準として、AIがOK、NGを判定(0.3秒)

3. 判定基準とスコア

OK、NGの判定と同時に、S:スコア値が表示されます

付属アプリケーションからスコア(判定基準)を設定することができます

(基準で2.0に設定。スコア値を確認しながら判定基準をより易しく、より厳しくできます)



4. データの保存

記録データは打音チェッカー内のSDメモリに保存され、BluetoothでPCに送信、保存されます
教師データの読み出し、書き込みができます

5. 点検対象

コンクリート建造物全般、トンネル内部、橋梁、地下鉄構内壁、点字ブロックなど

6. その他、打音による判定が可能なもの

打音による劣化判定をしているのであれば、対応可能です
お問い合わせ下さい